

# 人づくり ニュースレター

令和3年度

Vol.2

1.ドキドキわくわく冒険隊 2.みらいネット浜松 3.家庭教育サポートチーム「つなぐ」 4.「人づくり地域懇談会」の紹介

## ◆ 地域における人づくり実践事例

### ドキドキわくわく冒険隊

代表 江面裕加里（人づくり推進員）

問合せ ☎ 090-9807-7712

✉ dokiwaku.boh@gmail.com



伊東市で活動する子ども育成団体「ドキドキわくわく冒険隊」は、自然体験教室、放課後子ども教室、おもちゃ図書館や子ども食堂など、地域の子どもの学校外で様々な体験活動ができるイベントを企画運営しています。

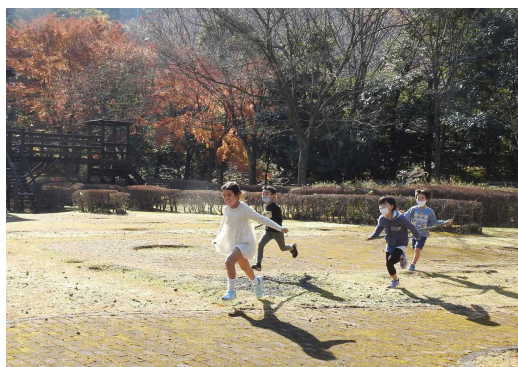
様々な活動の中の一つとして、市内の公園や海岸などで「こどもプレーパーク」を開催し、子どもたちが楽しく、安全に遊べる場所を提供しています。

## ◇ プレーパークとは？

「プレーパーク」とは、既存の公園や自然の環境・素材等を活用し、子どもたちが「やってみたい」と思うことを可能な限り実現させることを目指した遊び場のことを言います。

「ドキドキわくわく冒険隊」の江面代表は、近年の公園は様々な制約が多く、子どもたちが思う存分、自由に遊べる場所や機会が減っていることに危機感を感じ、開催を企画されました。事前に行政機関の許可を取り、火や水を使った活動、木登り等も行っています。

伊東市の豊かな自然の中で開催されるプレーパークは、現在、月に2回開催しており、地元の親子が集まる人気の企画となっています。



▲ 竹を運びながら競走する様子

## ◇ 「こどもプレーパーク」の様子

令和3年12月11日（土）、伊東市おくの公園で、ドキドキわくわく冒険隊主催の「こどもプレーパーク」が開催されました。

プレーパークでは、素材の調達や道具作りの手助け、危機管理などを行う「プレーリーダー」と地域のボランティアサポーターが見守りを行います。「こどもプレーパーク」のプレーリーダーは、伊東市でボーイスカウトの指導者も務める山口康裕氏（人づくり推進員）です。

この日は、地元の親子約15人が参加し、竹やロープを使いながら体を動かす活動を行いました。また、竹の切り方やロープの結び方の説明・体験もあり、親子が一緒に活動に取り組み、親同士や地域の方同士のコミュニケーションの場にもなっていました。

同団体は、ニーズに応じて事業規模が大きくなってきたため、令和4年にNPO法人 Think-Good を立ち上げる予定です。



▲ 高いところに登る際は、安全帯を着用（左：山口康裕氏）



## ◆ 地域における人づくり実践事例

### NPO 法人 みらいネット浜松

理事長 河原みち代（人づくり推進員）

浜松市西区入野町 20012-11

問合せ ☎ 053-570-8696（平日 10 時 ~ 15 時）

FAX 同上



浜松市西区の NPO 法人「みらいネット浜松」は、「男女が共に生き生きと住みやすい社会・浜松を創ろう」をキャッチフレーズに、男女共同参画、UD（ユニバーサルデザイン）、文化や防災など、様々な分野で住みやすいまちづくりの実践に取り組んでいます。

その取組の一環として、市民の防災意識の向上を目的に「みんなの防災すごろく」を作成し、市内の幼稚園、小・中学校や高齢者施設等で出前講座を行っています。

### ◇ みんなの防災すごろくとは

みらいネット浜松が作成した「みんなの防災すごろく」は、子どもから高齢者まで、楽しみながら防災知識と防災行動が身に付くように作られています。

すごろくでは、地震や津波が発生するマスや、その際に役立つ水やヘルメットなどのアイテムカードをもらえるマスがあります。そのほか、家具の固定や食料の備蓄など、日頃から実践できる防災行動を確認するマスがあり、グループで自分の家の状況を話し合いながらゴールを目指す仕組みになっています。



### ◇ 出前講座の様子（浜松市立舞阪小学校）

令和3年11月11日、浜松市立舞阪小学校では、総合学習の一環として、みらいネット浜松が招かれ、5年生約80人を対象に、防災すごろくの出前講座が行われました。

この日は、舞阪小学校の所在地である西区の市指定避難場所や津波緊急避難場所を掲載した、西区版「みんなの防災すごろく」が使用されました。児童たちは自分でコマを作り、グループで1つ1つのマスの内容を確認し、競いながらゴールを目指します。

また、防災すごろくを楽しんだ後、全員で災害時に役立つスリッパを新聞紙で作り、河原理事長から点字版防災すごろくの紹介と講話が行われました。講話では、「寝ているときに地震が起きたら？」「小学校にいるときに地震が起きたら？」と児童に問いかけながら、防災行動の確認を行いました。

河原理事長は、「防災すごろくを通して楽しく身に付いた防災行動が、万が一のときのとっさの行動につながってほしい。今日作ったすごろくのコマを家に持ち帰って、家族で家庭内の防災を見直す会話のきっかけになってくれれば。」と語られました。



▲ 防災すごろくを楽しむ児童(上)と新聞紙スリッパの作り方の説明をする河原理事長(下)

## ◆ 市町の取組紹介

### 掛川市 家庭教育サポートチーム「つなぐ」

(事務局) 掛川市教育委員会  
教育政策課社会教育室

問合せ ☎ 0537-21-1157



掛川市では、家庭教育支援の取組として、市を事務局とする家庭教育サポートチーム「つなぐ」が活動しています。

### ◇ 「つなぐ」とは

「つなぐ」には、サポーター42人が所属し、幼稚園や小・中学校等で行われる懇談会で、グループワークのファシリテーターや講話の講師を務めています。また、他にも子育てサロンにおいて相談員としての活動を行うなど、幅広く保護者の支援活動に取り組んでいます。メンバーは、元教員、PTA役員、社会教育委員や各種ボランティア経験者等、抱負な経験を持つ方々です。

「つなぐ」では、保護者同士をつなぐ、保護者と園・学校、地域、各機関とをつなぐことをコンセプトにしています。不安や悩みを抱える多くの保護者のもとに出向き、少しでも心を軽くできたら、との思いで活動しています。



チーム名の「つなぐ」には、

**つまずいたとき  
なんでもよいかから話して  
ぐっど(Good)な子育て**

のメッセージが込められています。

### ～ 「つなぐ」活動当日の流れ～

|   |       |                                   |
|---|-------|-----------------------------------|
| 1 | 事前打合せ | スケジュール確認、活動の留意点等                  |
| 2 | 活動    | 保護者同士のグループワークのファシリテーターとして話し合いを進める |
| 3 | 事後打合せ | 全体で報告、振り返りや反省等                    |

### ◇ 具体的な活動内容 (掛川市立中央小学校での活動を例に)

令和3年11月9日、掛川市立中央小学校において、1年生の保護者を対象に懇談会が開かれました。懇談会ではグループワークが行われ、各グループに「つなぐ」サポーター1人がファシリテーターとして参加し、話し合いを進めました。この日は「ほめ方、叱り方」をテーマに、各家庭の状況を交えながら話し合いが行われました。

話し合いでは、「幼稚園児の時と小学生で、ほめ方や叱り方をどのように変えたらいいか悩んでいる。」など、1年生の保護者特有の悩み等が話題に上がっていました。ファシリテーターがいることで、最初から最後まで、時間を有効に使った話し合いが円滑に行われ、活気のあるグループワークとなりました。

参加した保護者からは、「みんな同じ悩み、私だけでなかった。安心した。話せてスッキリした。」との感想が多く寄せられました。

活動終了後にサポーターの一人に話を伺うと、「保護者同士が打ち解けてくれて良かった。参加している保護者たちは自分にとっての子ども世代であり、その方たちの悩みに寄り添うことができ、自分自身も若返る気がする。」と活動のやりがいを語られました。



▲ 掛川市立中央小学校でのグループワークの様子



## ◆ 県の取組紹介

### 人づくり地域懇談会

静岡県スポーツ・文化観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

✉ sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



静岡県では、“ふじのくに”の未来を担う「有徳の人」づくりを進めており、家庭や地域における子育てや人づくりについて助言を行う方を「人づくり推進員」として委嘱しています。現在、96人の人づくり推進員が県内で活動しています。

人づくり推進員は、学校等で開催される「人づくり地域懇談会」において、子育てやしつけに関する講話、アドバイス等を行っています。

#### ◇ 「人づくり推進員」とは



県が進める「有徳の人」づくりの考え方を県民の皆様を知っていただくとともに、家庭や地域において行う人づくりのための活動を促進するため、平成12年度から委嘱しています。

人づくり推進員は、幼稚園や保育園、学校、公民館等で開催される「人づくり地域懇談会」において、子育てやしつけに関する講話やアドバイス、参加者同士の意見交換のファシリテーター役等を行っています。懇談会では、人づくり推進員と参加者が共に人づくりについて考え、社会全体で「有徳の人」づくりを推進しています。

#### 〈 人づくり地域懇談会のテーマ例 〉

- 「子どものほめ方・しかり方」
- 「心をつなぐコミュニケーション」
- 「子育てで大切な“思いやりとユーモア”」
- 「子どもを育て、自分を育てる」
- 「スマホのある子育てを考えよう」
- 「子どものやる気を引き出す声かけ」など

#### 〈 人づくり地域懇談会参加者の感想 〉

「これからすぐに実践したいと思う具体的なお話を聞くことができ、とても参考になりました。」

「改めて会話の大切さ、愛情の伝え方が大切だと思いました。子育てを楽しみながら、笑顔いっぱいの家庭にしていきたいです。」



### 人づくり地域懇談会・人づくりハンドブックのご案内

県では、原則無料で人づくり推進員を県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っています。平成12年から現在まで、5,400回以上開催してきました。

「人づくり地域懇談会」では、家庭や地域における人づくりのヒントが詰まった「人づくりハンドブック」を使い、人づくりや子育てに関するアドバイスや、県が進める「人づくり」について説明します。「人づくり地域懇談会」開催や「人づくりハンドブック」につきましては、県総合教育課にお問い合わせください。



～人づくりハンドブック～

「人づくり地域懇談会」の参加者や希望する方へ無料で配布しています。

■編集・発行 静岡県 スポーツ・文化観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp) URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

